



「第三平成園」開所式テープカット（12月5日）

主な内容

- 第三平成園が開所 ..... 25
- 平成21年のできごと ..... 69
- 平成20年度の決算 ..... 10
- 税に関する作文・標語 ..... 11
- 歯の健康 ..... 11
- 加茂の風土記 ..... 12

加茂病院は加茂市の宝 加茂病院を盛り立てましょう

# 市内三つ目の特別養護老人ホーム 「第三平成園」開所



十二月五日、加茂市で三つ目の特別養護老人ホームとなる「第三平成園」が神明町一丁目の温水プール隣に開所しました。

開所式では、金澤理久夫加茂福祉会理事長が「大勢の方々からのご理解とご協力をいただきありがとうございますとございました。建物周囲の工事がまだ終わっていませんが、入所には問題なく、また希望も多く寄せられているので、早く利用していただきたいと考えていたところです。入所される方とご家族から、安心していただける施設運営を心がけてまいります」とあいさつしました。

続いて、小池清彦加茂市長、茂岡明与司市議会議員、金谷国彦県議会議員、阿部僚一県三条振興局健康福祉環境部長、阿部大爾加茂商工会議所会頭が祝辞を述べました。加茂市長は「高齢化といわれる現代において、特別養護老人ホームの要望はますます高まるばかりです。三つ目の施設の完成で入所待機者の解消という市民の皆様への希望に応えることができます。第三平成園で採用されている全室個室仕様は、これから標準的な施設になると思います」と述べまし



一般公開の前に行われた開所式の様子



第三平成園の正面入口



阿部僚一新潟県三条地域  
振興局健康福祉環境部長



茂岡明与司市議会議長



金谷国彦県議会議員



小池清彦市長



金澤理久夫加茂福祉会理事長



阿部大爾加茂商工会議所会頭

第三平成園は、十二月七日から入所者の受け入れが始まり、ユニットステイは十二月二十一日から利用できるようになりました。

式典後の一般公開には、五・六日の二日間で千八百人余りの皆さんからおいでいただきました。平成園・第二平成園と異なり十室ごとに構成された生活空間は、見学者から自宅での生活とあまり変わらなく過ごせそうだという声が聞かれました。

第三平成園は十の個室と生活エリアで一つのユニットになっており、このユニットが一階に二つ、二階に三つあります。入所者用はこのユニットが四つ（四十人）、シヨートステイ用に一つのユニット（十人）があり、一・二階には地域の方やボランティアの皆さんとの交流の場として「地域交流スペース」が備えてあります。



2階の地域交流スペース



10の個室で構成されるユニットの居室部分



第三平成園は全てが個室仕様



一般公開に訪れた大勢の皆さん



寝たまま入浴できる特殊浴槽には皆さんの関心が集まりました



二つの特殊浴槽が完備されています



右側は車いすのまま入れる浴槽



10室の個室ごとにある居住スペースは、自宅のような生活空間になっています

「第三平成園」施設の概要

所在地 神明町1-7-1  
 敷地面積 約10,960m<sup>2</sup>  
 述べ床面積 約4,534m<sup>2</sup>  
 施設内容 ユニット型  
           特別養護老人ホーム40室  
           ショートステイ 10室  
 個室の広さ 約16.2m<sup>2</sup> (約10畳)  
 電話 57-1661



段差のないリビング



大型機材を備えた洗たく室



入所者の食事を準備する調理室

# 2009 加茂市のできごと

## 平成21年のできごと

平成二十一年は四月から始まった新型インフルエンザの世界的流行があらゆる場面で影響をおよぼしました。秋からは集団感染も広まり、市内でも学級・学校閉鎖が行われたほか、マスクやアルコール消毒液の品切れがニュースとして取り上げられました。そのような中でも、日本中を沸かせた県勢初となる夏の甲子園決勝の猛追や、トキメき新潟国体、プロゴルフ界での最年少賞金王誕生などスポーツニュースが目立つ年でした。平成二十一年をまとめてみましたのでご覧ください。



### 国体・ボクシング競技開催 (10月2～6日)

勤労者体育センターで開催されたボクシング競技では、少年・成年の部全220試合が行われました。連日、会場は観客で埋め尽くされる中、4日に常陸宮同妃両殿下がお成りになり、試合を御観戦されました。

### 第三平成園開所 (12月5日)

昨年から建設されていた市内三つ目の特別養護老人ホームが完成しました。二日間の一般公開には1,800人余りが訪れ、粟ヶ岳が一望できる地域交流スペースや50名が入所できる施設を見学していただきました。



## 平成21年 加茂市のできごと

- |       |            |                |         |             |                   |           |           |         |                        |        |           |     |                |                |                 |              |             |              |        |        |          |       |
|-------|------------|----------------|---------|-------------|-------------------|-----------|-----------|---------|------------------------|--------|-----------|-----|----------------|----------------|-----------------|--------------|-------------|--------------|--------|--------|----------|-------|
| 21日   | 20日        | 13日            | 5月3日    | 29日         | 28日               | 19日       | 6日        | 5日      | 4月1日                   | 30日    | 25日       | 23日 | 3月9日           | 25日            | 22日             | 2月7日         | 30日         | 7日           | 18日    | 25日    | 1月4日     |       |
| 加茂まつり | 美人の湯源泉給湯再開 | 加茂山リス園入場者150万人 | 大通り春まつり | 市民茶会・粟ヶ岳山開き | 市の新型インフルエンザ対策本部設置 | 雪椿まつり大園遊会 | 市内小中学校入学式 | 加茂山一斉清掃 | 県内初のN T Tドコモ緊急エリアメール導入 | 加茂市表彰式 | 市内小中学校卒業式 | 開始  | 県内トップで定額給付金振込を | 市議会3月定例会(～26日) | 平成21年度当初予算(案)発表 | 雪上レクリエーション大会 | ふるさと加茂かるた大会 | 大島町親善訪問(～1日) | 市民囲碁大会 | 市民囲碁大会 | 育団連雪合戦大会 | 消防出初式 |

# 2009 加茂市のできごと

## 日本のできごと世界のできごと

- 1月1日 午前9時にうるう秒挿入
- 20日 オバマ米新大統領就任
- 2月2日 浅間山噴火
- 17日 冬季国体開催（～20日）
- 3月24日 WBCワールド・ベースボール・クラシック日本連覇
- 28日 高速道路土日休日上限千円スタート
- 4月4日 北朝鮮ミサイル発射
- 5月20日 新型インフルエンザ国内感染確認
- 6月6日 サッカーW杯出場決定
- 25日 マイケル・ジャクソン逝去
- 7月21日 衆議院解散
- 26日 宮里藍が米女子ゴルフツアー初優勝
- 8月3日 裁判員裁判審理開始
- 24日 夏の甲子園で新潟代表・日本文理高準優勝
- 30日 衆議院議員総選挙・55年体制崩壊
- 9月13日 イチロー9年連続200安打でメジャー新
- 16日 民主党鳩山内閣誕生
- 10月9日 ノーベル平和賞に米オバマ大統領
- 15日 世界体操選手権で内村航平が最年少「金」
- 11月4日 ヤンキース・松井がワールド・シリーズでMVP
- 7日 日本シリーズ・巨人優勝
- 11日 政府事業仕分け開始
- 29日 大相撲・白鳳が年間最多勝星で優勝



### 市内スポーツチーム全国へ

学童野球チーム「南イーグルス」と家庭婦人バレーボールチーム「つかさクラブ」が全国大会に出場しました。「つかさクラブ」は親善試合・トーナメント戦で優勝・準優勝チームと対戦し、善戦しました。



### 美人の湯源泉給湯再開（5月20日）

源泉給湯が再開され、リピーターとして何度も来館されるお客様も増えているそうです。1月には開館6年で100万人目のお客様を迎えることができました。

9月1日	30日	23日	21日	20日	15日	14日	8月6日	24日	13日	7月3日	27日	24日	20日	19日	15日	7日	6月1日	31日	5月26日			
市内全体で光ファイバー通信網整備完了	青海神社秋季祭礼	衆議院議員総選挙投票日	舞踊まつり	競技大会出場	加茂中4選手が全国中学校水泳大会出場	下条簡易郵便局開局	家庭婦人バレーボールチーム「つかさクラブ」全国大会出場	越後加茂川夏祭り	少年野球「南イーグルス」全国大会出場	総体総合開会式	コムソモリスクス市子供代表団来市（～20日）	桐たんす見本市（～5日）	NHK交響楽団加茂公演	冬鳥越に電気機関車ED1を展示（～21日）	とっておきの加茂★夏物語	市議会6月定例会（～1日）	上条まつり	歯っぴいスマイル加茂	加茂川一斉清掃	国際交流協会総会	春季消防演習	市議会5月臨時会

# 2009 加茂市のできごと



## 国体・炬火採火式（9月5日）

美人の湯庭園で太陽光から採火されました。  
「美人の湯源泉給湯再開記念 きらめく小京都加茂希望の火」と命名されました。



## 電気機関車ED1

蒲原鉄道電車線で活躍した車両が6月に冬鳥越へ。秋までに改修され、現役当時の力強い輝きを放っています。



## コムソモリスク市子供代表団来市

今回、加茂市を訪問した15～17歳の代表団の生徒たち。初めて体験する美人の湯の大浴場は大好評のようでした。



## 第43回雪椿まつり大園遊会（4月19日）

大園遊会当日、ミス雪椿に写真左から木村朱美さん、塩澤亜弓さん、アンナ・エルショワさんが選ばれました。

13日	早乙女太一公演	11月1日	市民音楽祭	9月5日	国体炬火採火式
7日	市議会12月定例会（～22日）	3日	栗ヶ岳山じまい	15日	長瀬神社秋季祭礼
12月5日	第三平成園開所式	4日	元五輪女子新体操代表選手の齋藤里絵子さんが体操トレーニン	21日	敬老会
30日	金婚を祝う会	5日	小学校音楽発表会	24日	市議会9月定例会（～13日）
29日	勤労青少年ホーム紅葉祭	6日	加茂菊花展開催（～23日）	27日	市民芸能祭
24日	臨時市議会	11月1日	市民音楽祭	10月1日	市民バス 村松・戸倉線運行開始
6日	加茂菊花展開催（～23日）	31日	第42回市展開催（～4日）	11日	大通り秋まつり・農業まつり
5日	小学校音楽発表会	28日	中学校音楽発表会	12日	市民カラオケ大会 加茂川慕情
4日	藤里絵子さんが体操トレーニン	25日	健康ウォーク	18日	福祉フェスティバル
3日	栗ヶ岳山じまい	24日	小林幸子コンサート	12日	加茂川ブルース全国大会
11月1日	市民音楽祭	18日	福祉フェスティバル		
		11日	大通り秋まつり・農業まつり		
		12日	市民カラオケ大会 加茂川慕情		
			加茂川ブルース全国大会		
			福祉フェスティバル		
			小林幸子コンサート		
			健康ウォーク		
			中学校音楽発表会		
			第42回市展開催（～4日）		
			市民音楽祭		
			栗ヶ岳山じまい		
			元五輪女子新体操代表選手の齋藤里絵子さんが体操トレーニン		
			小学校音楽発表会		
			加茂菊花展開催（～23日）		
			臨時市議会		
			勤労青少年ホーム紅葉祭		
			金婚を祝う会		
			第三平成園開所式		
			市議会12月定例会（～22日）		
			早乙女太一公演		



## 2009 加茂市のできごと



### 第6回加茂菊花展

冬鳥越スキーガーデンには、市内や近郷の愛好者から170鉢が集まり、訪れる人を楽しませてくれました。



### 加茂山リス園150万人突破（5月13日）

人気スポットとして訪れる人が絶えない公園となっています。150万人目となったのも長岡市から来られたご家族でした。



### 下条簡易郵便局開局（8月20日）

一時閉鎖していましたが、局舎を移転新築し、地域の利便性が向上するとともに大勢の方から利用されています。



### 衆議院議員総選挙（8月30日）

政権交代となったこの選挙。加茂市での衆議院小選挙区選出議員選挙の投票率は、75.31%でした。



### 桐たんす見本市（7月3日）

開催初日に女性による桐たんす製作体験がありました。熟練の職人と作った桐たんすは、思い出深いものとなったようです。



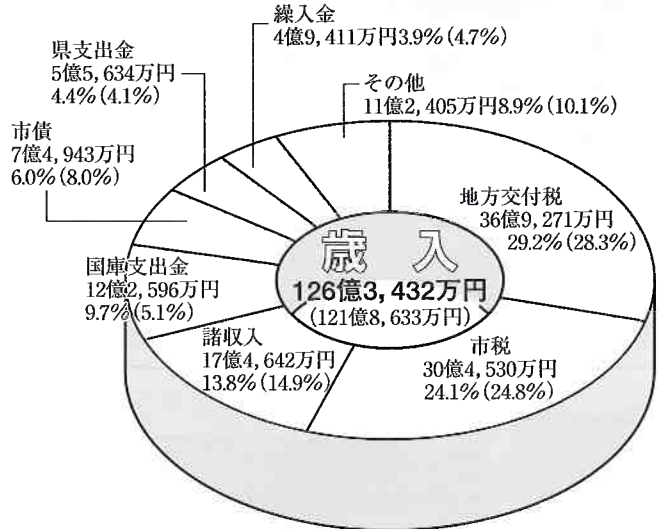
### 第24回越後加茂川夏祭り（8月14日）

今年の夏祭りは晴天に恵まれました。定番のウンボ・キャッチャーや桃釣り大会など子どもたちでにぎわいました。

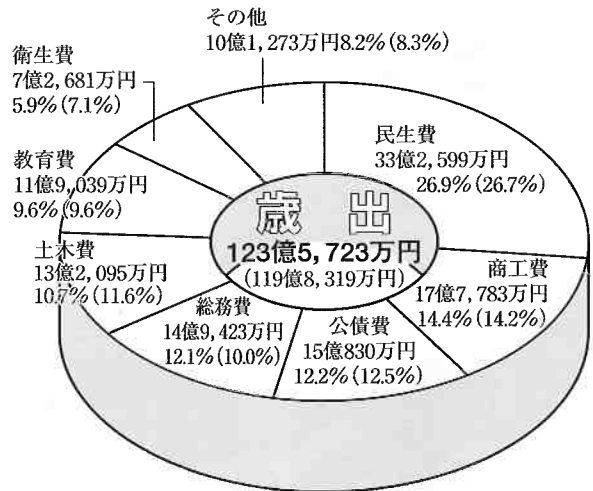
# 平成20年度決算

平成20年度の決算がまとまり、市議会12月定例会において認定されました。一般会計と特別会計の歳出の合計は213億6,557万円となっています。この内容を表とグラフでご覧ください。

## 総額213億6,557万円



## 一般会計決算



[グラフ・表の( )内は平成19年度のものです]

## 市税の負担状況

(平成21年3月31日現在の人口 31,244人 世帯数 10,093世帯)

項目	収入済額	1人当たり	1世帯当たり
市民税	13億8,714万円	44,397円	137,436円
固定資産税	13億7,749万円	41,848円	129,544円
軽自動車税	6,146万円	1,967円	6,089円
市たばこ税	1億4,497万円	4,640円	14,364円
都市計画税	1億4,424万円	4,616円	14,291円

## 市民1人当たりの一般会計歳出額395,507円

民生費	106,452円	土木費	42,279円
商工費	56,901円	教育費	38,100円
公債費	48,275円	衛生費	23,262円
総務費	47,824円	その他	32,414円



## 性質別経費 (普通会計)

項目	金額 (万円)	割合 (%)
人件費	23億7,504	19.3%
補助費など	18億6,299	14.7%
投資出資など	15億6,728	12.8%
公債費	14億6,607	11.9%
繰入金	14億6,329	11.9%
物件費	12億9,239	10.5%
扶助費	12億8,102	10.4%
建設事業費	7億3,075	6.0%
その他	3億541	2.5%
合計	122億8,754	

性質別経費は統計の取り方が異なるため一般会計歳出額とは一致しません。

市債現在高は114億8,765万円为国が全額負担する分を除くと79億136万円となり、これを返済するとき、国がさらにその一部を負担しますので、実際に加茂市が返済する金額は48億4,845万円となります。

区分	現在高
1 総務債	8億645万円
2 民生債	10億8,051万円
3 衛生債	9億9,429万円
4 農林水産業債	5億4,818万円
5 商工債	1,221万円
6 土木債	26億5,811万円
7 消防債	1,720万円
8 教育債	10億4,677万円
9 災害復旧債	8,631万円
10 転貸債	2,613万円
11 減収補てん債	1億3,970万円
12 退職手当債	4億8,550万円
小計	79億136万円
13 減税補てん債	6億3,677万円
14 臨時税収補てん債	1億2,529万円
15 臨時財政対策債	28億2,423万円
一般会計総計	114億8,765万円

## 特別会計決算 (単位:万円)

会計名	歳入合計	歳出合計	差引残額
国民健康保険	30億6,148	31億4,258	△ 8,110
老人保健	3億2,014	2億9,184	2,830
後期高齢者医療	2億5,587	2億5,015	572
宅地造成事業	1億6,608	1,212	1億5,396
下水道事業	27億2,764	27億2,189	575
介護保険	21億7,471	21億4,260	3,211
在宅介護サービス事業	4億9,238	4億4,716	4,522

「税」に関する作文・標語

「税」の仕組みと役割について知識と関心を高めてもらおうと、作文と標語を募集しました。作文には百二十点、標語には五百三十九点の応募があり、次の各賞が決まりました。(敬称略)

■作文

【国税庁長官賞】

「私が思う税金のあり方」小松彩

(加茂農林高三)

【三条税務署長賞】

「国民のための税金」坂内綾華

(加茂暁星高三)、「税のしくみ」

若林憲輝(加茂農林高三)

【三南区納税貯蓄組合連合会長賞】

「税はどこへ・・・?!」近藤祥子

(若宮中三)、「被災地への税」笠

原伊織(七谷中三)、「五%の大切

さ」小林花乃子(須田中二)

【加茂市租税教育推進協議会長賞】

「図書館の大切さ」青野涼(若宮

中三)、「税金について」雙田洋介

(七谷中二)、「税の姿」矢部剛

(須田中一)、「税は縁の下の力持

ち」竹内薫(加茂暁星高三)、「私

が望む税金の使い道」中野裕太

(加茂農林高三)

■標語

【三条税務署長賞】

「未来へとつながるバトンわたしの税」西脇美季(葵中三)、「税金で僕らの未来がCHANGEする」桑原貫(加茂中三)、「みんなの税豊かな暮らしの大きな源」萱森崇(須田中二)、「税金で安心安全豊かな暮らし」藤田寛人(若宮中二)

【加茂市租税教育推進協議会長賞】

「学校も税で通えるありがたみ」志田明日香(加茂中三)、「税金で未来の君へ夢わたし」村山暉(葵中一)、「納めれば輝く未来が動き出す」小林あすか(葵中二)、「税金を納めるからこそある暮らし」長谷川彩乃(葵中三)、「消費税納めるのは社会の一員」坪谷飛鳥(若宮中一)、「税金でみんなの未来築きたい」坪谷菜生(若宮中二)、「納税で平和な暮らしと夢託す」高井悠希(若宮中三)、「納税は未来のための大事な義務」茂野恭平(七谷中一)、「みんなの税みんなが納めて世の安心」横山澁(須田中一)、「納めようあすの僕らの町のため」丸山純也(須田中二)、「納めよう未来のための宝も」星野光希(須田中三)

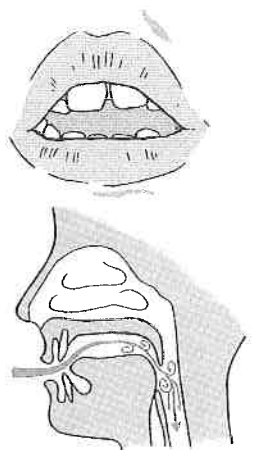


鼻呼吸できていますか?

口呼吸はなぜいけない?

私たち人間は、鼻と口のどちらでも呼吸ができるようにできていますが、通常は鼻で呼吸をします。しかしアデノイドやへん桃せん炎、鼻炎症アレルギーなどで鼻が詰まっている場合、日常的に口呼吸をせざるをえません。その口呼吸が歯並びにも悪影響を与えてしまうのです。

上下の前歯が口の中で正しい状態を保つためには、内側からの圧力(舌の動き)と外側からの圧力(口周辺の筋肉)が、ちょうどいいバランスで前歯にかかっていることが大切です。ところが口呼吸する子はいつも口が開いた状態になるため、口を閉める動きをする口輪筋(こうりんきん)の縮まりが悪くなり、前歯を押さえる力が弱くなります。そのため、前歯には舌の圧力だけが一方的にかかっています。前突(出っ歯)や開咬(かいこう)・前歯がかみ合わない



い状態の原因になるのです。鼻呼吸に切り替えるために

お子さんに「口を閉じてお鼻で息をしてみよう」といって、一分間計ってみましょう。一分後「普通だった」という子は日ごろから鼻呼吸の習慣のある子ですが、「意識した」「口でしちゃった」という子は、口呼吸の習慣があります。まずは耳鼻科を受診して鼻の通りを良くしてもらいましょう。家庭では、ボタントレーニングや、アイスバートレーニングなどの口輪筋をきたえるトレーニングを!

(加茂市歯科医師会)



ボタントレーニング(上)とアイスバートレーニング(右)

# 上条商人 常陸の 大子町に進出

ひたち だいご まち

茨城県の「大子町」が発行する『大子町史』下巻に、「明治十年頃になると、各地の（蒟蒻）仲買商人のなかに、大子の地に土着して店舗を構え商売をするもの現われ、越後の川口理作、同利吉：らが自由営業を開始した：」と、気になった一節があった。この「越後の川口」は何処の出身だったのか、その出身地によつては江戸後期の加茂の産物「元結・水引」と関わって、加茂・上条の蒟蒻商人の多い意味が判明するかも知れない、と兼ねての懸案であった。

大子町での調査により間違いなく加茂片平町（現在の若宮町一丁目付近）出身の川口家二家であったことが判明した。水戸藩では蒟蒻は専売制をとり、袋田村（大子町）の蒟蒻会所を通じて、各地へ販売されていた。それが明治以降では自由販売に変わり、販売の拠点は「大子町」に移つた。これに伴いこれまでの仲買商人は、大子に留まって商売する者も現われた。そのうちの二家が加茂の川口家であったのである。

片平町の川口惣蔵の二男利作（万延元年十一月三日生）が妻とともに大子へ移住した年代は明確でないが、明治二十年代はじめとみられる。もう一人は川口栄次郎であった。明治五年（一八七二）上条村戸籍繪図によれば、川口惣蔵と川口栄次郎は、片平町の往来道を挟んで、惣蔵家は

双壁寺の下手に、栄次郎家はその向かい側下手にあったことがわかる。大子町での両家の商売内容を語る史料はほとんどなくなっていたが、大子地方で産出する蒟蒻や椿などの仲買商として、川口利作家は関東方面を、川口利吉（栄次郎孫）家は関西方面を商圏としていた。明治四十五年の頃、両家ともに、大子町実業団に名を連ね、国税納入額は利吉家が町内二位、利作家が十四位であった。両家とも町会議員になり、二代目利吉は茨城県会議員になった。

この両家の大子進出は一朝にしてなされたものでなく、先代の川口惣蔵・惣右衛門によるこの地方との取引がすであつた結果からであつた。

これを示す、安政三年（一八五六）、蒟蒻半製品の乾燥「荒粉」の移出先に、加茂上条商人の（川口）惣右衛門・栄次郎・松屋（多田）豊三郎・叶屋庄吉らの名がみえる。これは袋田の蒟蒻会所の許可を得て移出された蒟蒻があつたことを示している。

加茂ではこの蒟蒻を元結・水引の糊の材料とした。和紙は七谷方面から、糊は蒟蒻糊を使い、加茂の産物「元結・水引」ができていた。（平成二十一年一月号参照）

## 赤い羽根共同募金

十二月二十八日に、ボーイスカウトとガールスカウトが街頭活動で集めた募金（ボーイスカウトから三万五千二百二十五円・ガールスカウトから二万七千四百九十一円）を届けていただきました。団員は十一月・十二月の六歳市の日の募金活動に、大勢の市民の皆さんからご協力をいただいたそうです。ありがとうございます。



## 加茂の風土記

大子町での調査により間違いなく加茂片平町（現在の若宮町一丁目付近）出身の川口家二家であったことが判明した。水戸藩では蒟蒻は専売制をとり、袋田村（大子町）の蒟蒻会所を通じて、各地へ販売されていた。それが明治以降では自由販売に変わり、販売の拠点は「大子町」に移つた。



蒟蒻の荒粉を注文する書状（川口惣蔵から会所の桜岡源治右衛門あて）

（関 正平）

### 人口のうごき

12月1日現在	
世帯	10,124 (+10)
人口	31,022 (-23)
男	14,992 (-14)
女	16,030 (-9)
( )内は前月比	
(11月異動分)	
出生	16 (男7女9)
死亡	25 (男15女10)
転出	57
転入	43